

# 令和4年度 地方創生推進交付金活用事業

## 地方創生交付金の評価基準（4段階）

- ① 地方創生に非常に効果的であった  
例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
- ② 地方創生に相当程度効果があった  
例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
- ③ 地方創生に効果があった  
例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
- ④ 地方創生に対して効果がなかった  
例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合



MAIBARA CITY SALES

# 健康でエコなマイクロツーリズム推進プロジェクト (2/3年目)

横連携

県：事業連携

地方創生推進交付金 R4年度歳入額：2,140千円(事業費4,280千円)

## 【目指す将来像】

- ・ピワイチやピワイチプラス等の人気の高まりにより、琵琶湖畔から内陸部への流れが生まれている。
- ・幅広い客層が県内でのサイクリングをゆっくり、長く楽しむことができ、その中で感じられた健康長寿を育む滋賀の暮らしや食、文化といった魅力の数々を旅人自らが拡散する好循環が生み出されている。
- ・旅行者自らの旅のスタイルに合わせて健康でエコな交通手段を選択できるように、サイクルステーションや二次交通基盤、雨天時のバックアップ等が整備されている。
- ・多くの人がサイクルツーリズムを選択することで環境負荷の低いサステナブルな観光への転換が進むとともに、サイクリングによる旅行者の健康維持にもつながっている。

## 令和4年度の取組

- 滞在型サイクリングイベント  
ピワイチアプリを活用した期間限定のスタンプラリーを実施
- 米原駅西口円形広場の活用促進  
イベント等の充実に向けてベンチ8台を設置
- 伊吹山ライブカメラによる魅力発信
- ジャパンエコトラック普及啓発  
ルートマップの作成、モンベルフレンドフェアへの参加



## 重要業績評価指標 (KPI)

※滋賀県全体のKPI (前年比から算出)		開始時点	R3年度	R4年度	R5年度
健康でエコなマイクロツーリズム による経済効果の増加額	KPI(百万円)	-	400	279	139
	実績(百万円)	-	▲1,066.2	469	-
サイクルツーリズムの自転車利用に 伴うCO <sub>2</sub> 削減の増加量	KPI(t-CO <sub>2</sub> )	-	562	393	193
	実績(t-CO <sub>2</sub> )	-	▲343	948	-
女性・ファミリー向けサイクリング 体験イベント参加者の増加人数	KPI(人)	-	300	1,150	400
	実績(人)	-	756	976	-

# 健康でエコなマイクロツーリズム推進プロジェクト

## ■最終KPI

- ・健康でエコなマイクロツーリズムによる経済効果の増加額  
R4目標:279百万円 実績:469百万円 → **達成**
- ・サイクルツーリズムの自転車利用に伴うCO<sub>2</sub>削減の増加量  
R4目標:393.0t-CO<sub>2</sub> 実績:948.0t-CO<sub>2</sub> → **達成**
- ・女性・ファミリー向けサイクリング体験イベント参加者の増加人数  
R4目標:1,150人 実績:976人 → **未達成**

## 自己評価:③地方創生に効果があった

### 【マイナス評価】

- ・コロナ禍による影響もあり、体験イベント参加者数が目標値に届かなかった。

### 【プラス評価】

- ・本市の強みである豊かな自然を活かした観光誘客を促進する取組として、米原サイクルスタンプラリーを開催するなど、健康でエコなマイクロツーリズムの推進、内陸部への誘客、様々な年代・多様な層への訴求、滞在時間の増加を図ることができた。

# 滋賀ならではの価値ある資源と観光を掛け合わせてつくる 「シガリズム」推進プロジェクト（1/3年目）

横連携

県：事業連携

地方創生推進交付金 R4年度歳入額：7,723千円（事業費15,446千円）

**【目指す将来像】** \*シガリズムとは…コロナ後を見据えた新たな時代の流れに対応し、自然と歩みをそろえてゆったり、丁寧に暮らしてきた滋賀の時間の流れや暮らしを体感し、心のリズムを整える観光スタイルのこと。

- 行政や民間等の多様な主体が連携することで琵琶湖をはじめとした豊かな自然環境、多様な歴史・文化、地場産業、暮らしそのものについて、一層魅力を高めながら有効活用することができている。また、観光のみならず地域の幅広い産業との相乗効果を発揮することで、地域経済の活性化にもつながっている。
- 自然環境や歴史文化等の保存と活用の好循環が図れている。また、環境負荷の低減と地域経済活性化のバランスがとれた持続可能な産業が創出できている。
- 地域住民との交流を通じ、何度も滋賀を訪れる滋賀ファンを増やすことで交流人口、関係人口を増加させ、住民自らの地域への愛着や誇りの醸成につながる地域づくりができている。

## 令和4年度の取組

- 動画作成講座、動画コンテストの開催
- インターネットサイトのリニューアル
- 米原駅でのパブリックアートの展示
- 古民家を活用したDIY体験教室
- 周遊観光ツアーの新規造成支援
- 官民連携による滞在型観光コンテンツの構築支援

## 重要業績評価指標（KPI）

※滋賀県全体のKPI (前年比から算出)		開始時点	R4年度	R5年度	R6年度
観光消費額	KPI(億円)	—	324	330	330
	実績(億円)	1,328	189	—	—
シガリズム体験交流 コンテンツの売上額	KPI(百万円)	—	1	3	2
	実績(百万円)	0	0.71	—	—
本事業で新たに創出された 観光コンテンツ数	KPI(本)	—	64	64	64
	実績(本)	0	67	—	—
県外観光客リピーター率	KPI(%)	—	2	3	3
	実績(%)	64.8	7.5	—	—

# 滋賀ならではの価値ある資源と観光を掛け合わせてつくる「シガリズム」推進プロジェクト

## ■最終KPI

- ・観光消費額  
R4目標:324億円 R4実績:189億円 → **未達成**
- ・シガリズム体験交流コンテンツの売上額  
R4目標:100万円 R4実績:71万円 → **未達成**
- ・本事業で新たに創出された観光コンテンツ数  
R4目標:64本 R4実績:67本 → **達成**
- ・県外観光客リピーター率  
R4目標:2% R4実績:7.5% → **達成**

## 自己評価:③地方創生に効果があった

### 【マイナス評価】

- ・コロナ禍の影響により外国人の誘客ができず、年間観光入込客数が激減した。

### 【プラス評価】

- ・情報発信を強化するため、首都圏でのPRやシティセールスサイトの運営、動画コンテンツの開催を通じて本市の魅力を発信し、まちの情報発信力の向上・シビックプライドの醸成を図るとともに、米原ならではの暮らしや生業を体験するプログラムを開発することができた。

# 小中学校のICT教育推進事業（システム導入）

地方創生推進交付金 R4年度歳入額:71,629千円(事業費143,259千円)

**【目指す将来像】**

- 全ての小中学校の校務系ネットワークを令和3年5月に完成した本庁舎に集約し、授業系ネットワークの回線に掛かる通信負荷の分散が図れている。
- 通信環境がない特別教室等にアクセスポイントを設置し、すべての教科でICT教育が実施できる。
- 教職員の長時間勤務を解消し、教育の質の維持向上が図れている。
- 統合型校務支援システムの導入により、データの蓄積・共有を行い、データの相互流通性が向上することで、関係部署が連携して課題等に取り組んでいる。

**令和4年度の取組**

- 校務系・授業系ネットワークの分離および学校間ネットワーク構築
- 校内のWi-Fi環境エリア拡充に向けた通信環境整備
- 統合型校務支援システムの導入

**重要業績評価指標 (KPI)**

※滋賀県全体のKPI (前年比から算出)		開始時点	R4年度	R5年度	R6年度
学校間または教職員間で情報共有した件数	KPI(件)	—	システム導入	15	30
	実績(件)	—	完了	—	—
利便性に関する教職員満足度(10段階)	KPI(段階)	—	システム導入	6以上	7以上
	実績(段階)	—	完了	—	—
授業等に関するデジタル活用状況報告件数	KPI(件)	—	システム導入	6	15
	実績(件)	—	完了	—	—
回線速度改善	KPI(%)	—	システム導入	5	維持
	実績(%)	—	完了	—	—

# 小中学校のICT教育推進事業

## ■最終KPI

R4目標:システム導入 R4実績:全て完了 → **達成**

**※R4はシステム導入のため、KPI評価はR5から**

自己評価: ③地方創生に効果があった

### 【プラス評価】

・計画どおり、ネットワークの構築および整備を令和4年度末に完了しました。